

# 西鉄組合新聞

[発行所]福岡市中央区大手門1丁目4番16号  
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合  
[編集発行者]渡辺 裕二  
定価 1部 30円 送料共  
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)



第24回参議院議員選挙組織内候補

■開催日：9月5日(土)～7日(月) ■場所：沖縄県那覇市  
3日間 アブチラガマ、辺野古で考えたこと  
アブチラガマ、辺野古で考えたこと  
藤井聰史



3日間 アブチラガマ、辺野古で考えたこと  
アブチラガマ、辺野古で考えたこと  
藤井聰史

9月5日(土)～7日(月)、沖縄県那覇市にて連合福岡「ヤングカーバルin沖縄2015」が開催され、西鉄労組からは5名が参加しました。

われ、連合福岡青年委員会委員長による挨拶がありました。那覇空港到着後は「ひめゆりの塔」に向かい、献花・見学を行った後語り部の方から沖縄戦体験談をお聞きしました。それから平和の礎を見学してホテルへ。全体夕食交流会・班別交流会が行われました。

2日目は、午前中には「首里城（本部壇跡）」、「辺野古」「チヂミガマ」をまわり、午後からは、「嘉数高台公園」「糸糸塚（アブチラガマ）」へ、それぞれガイドの方に丁寧な解説をしていただきました。その後、ホテルにて班別夕食会・班別夕食交流会が行われ、各班で親交を深めました。

最終日は、国際通りにて自由散策し、帰路につきました。2泊3日と短い期間でしたが、沖縄戦跡や米軍基地などを巡ることで平和について実りある学習が



□ 参加者…吉屋和彦（愛宕  
近、柴原七美（壱岐）、真名子  
盛華（早良）、本山善教（筑葉）、  
藤井聰史（事業）

△ 心に響いた「命どう宝」  
筑葉業務分会 本山 善教

ひめゆり平和資料館にて、遺品や当時の様子の写真などを見

【青年女性協議会 真名子 盛華】

でできた事とともに、各産別の仲間と交流を深めることができ、非常に貴重な経験を積むことができました。

【青年女性協議会 真名子 盛華】

までの学び、沖縄戦の凄まじさを目

当たりにしました。糸糸アブチラガマに行つた際は、狭い通路に入つて行くと、爆風で飛んだドラム缶が天井に焼きついている跡

が当時のまま残され、正直恐ろしく感じました。

当時、麻酔なしで手・足を切断する手術が行われていたことや、死体を捨てるところすら何とも思わないくなっている姿、親が我が子を殺し自分も死んでいったこと、そんな話を聞いて、人間としての心がなくなつていく様子が恐ろしくなりました。この3日間で、「戦争は本当に終わっているのか?」、「戦争はもちろん、今の日本、政治などに関心を持ち、選挙や今の自分にできることを見つけて活動していくことが大事である」、そして何よりも「命どう宝」という言葉から、命の大切さ、生きる喜びを感じました。

普天間基地では、オスプレイが整然と駐機しており、基地と住宅街が隣りあわせとなつてゐるの

で、戦後日本の歩みを覚えるべき、周りの人、若い世代に伝えるとともに、絶対に戦争というものを忘れないよう私ができる限り取り組み、今後の仕事などに活かしていくたいと思います。

【吉屋 和彦】

中の入り身体で感じるといっ

点で一番印象に残つた場所でもあります。中に入り、ガイドの方のお話を聞きながら遺品を見て歩いていると、当時、私自身がそ

の場にいたらどういった行動をとったのだろう、必死に生きようとしたのか、と考えさせられました。

【吉屋 和彦】

したが、やはり基地建設反対の旗が貼られている海岸、基地前で座り込みをする方々を見て、終戦から70年経つてもなお戦争とともに、絶対に戦争というものを感じることができます。しかし、一方で、昨年の参議院選挙のねじれ解消、昨年末衆議院選挙の大敗が戦争法案の成立に結びついていることを鑑みれば、私たち有権者にも責任の一端があることも肝に銘じなければなりません。

たない安倍政権が「数の力」で、戦後日本の歩みを覚える重大な法案を成立させたことは、許しがたい暴挙と言わざるを得ません。しかし、一方では、昨年の参議院選挙のねじれ解消、昨年末衆議院選挙の大敗が戦争法案の成立に結びついていることを鑑みれば、私たち有権者にも責任の一端があることも肝に銘じなければなりません。

西鉄労組は、「戦争を許さない、戦争に加担しない」ための運動の継続と、来年夏施行予定の参議院議員選挙はもちろのこと、今後の政治活動の取組み強化に努めてまいります。組合員の皆様も主権者である自覚と権利の発動を今一度肝に銘じて政治に参加していただき、私たちの思いを国政へ届けましょう。

## 「安全保障関連法案」強行採決される



9月19日、参議院本会議において安全保障関連法案において、安全保

保法が採決されました。この法案は、戦争を許さない立場を堅持する立場を示すものですが、実際には、アブチラガマ、辺野古での実地調査を通じて、現地の状況や人々の暮らし、歴史的背景などを理解する機会となりました。また、普天間基地の現状や、オスプレイの飛行音による騒音問題なども議論されました。

現在でも、米軍基地問題などによって、沖縄に平和で安穏な生活があるとは言えず、これらは沖縄だけの問題ではなく私たち一人ひとりの問題でもあると思いません。問題解決のために私たちにできることは何かを考え、実行していくべきだと思います。



て、まさに  
無事に終  
えること  
ができま  
した。その  
風景を見

## 「中国クブチ沙漠植林ボランティア」に参加して

愛宕浜分会 小宮 智子

私は、8月16日(日)～22日  
(土)の二週間田主丸隊の一  
員として、中国のクブチ沙漠植  
林ボランティアに参加してきま  
した。ボランティアチームは、下  
は中学生から上は82歳までの  
総勢16名で、中には何回も参加  
されているベテランの方もい  
らっしゃいました。この事業は、  
沙漠の植林緑化活動に加えて、  
日本両国の友好親善を深める  
ことも目的に行われており、毎  
年8月に実施されています。



北京空港に着くと既に夕暮  
れでしたが、大気汚染の影響か  
ら空にはもやがかかってお  
り、全体的に霞んでいるのが印  
象的でした。北京市内には、近  
代的な高層ビルが建ち並び、大  
都会という印象を受けました  
が、一步路地を入れると、昔なが  
らの鄙びた建物が並んでおり、  
貧富の差を強く感じました。

北京市内には、近  
代的な高層ビルが建ち並び、大  
都会という印象を受けました  
が、一步路地を入れると、昔なが  
らの鄙びた建物が並んでおり、  
貧富の差を強く感じました。

500本  
のボプラ  
砂止めを  
植林と



クブチ沙漠では、朝から太陽  
がギラギラ輝く快晴の下で作  
業を行いました。全員が團結し  
て協力した結果、2日間で約  
500本のボプラ

感無量でした！

これまで多くのボランティア  
の方々が植林活動に参加し、  
徐々にですが沙漠に緑が増え  
てきているそうです。私たちが  
作業をしていた時も、植林  
の学生44名が同じように植林  
に来ていました。他にも、4団  
体が植林ボランティアに来てお  
り、緑化活動が広がっているの  
を感じました。

私たちの普段の生活は、水道  
の蛇口をひねれば水が出る、電  
気もスイッチ一つで簡単に点  
く、コンビニも24時間開いてい  
る、そんなことが当たり前に

なっているのに対して、沙漠地  
帯では生活物資が乏しく、毎日  
の暮らしも大変だと聞きました。  
モノの大切さみんなで協  
力すること、团结など、大変勉  
強になりました。現在、問題に  
なっている地球温暖化や黄砂  
飛来などを緩和するために、  
沙漠への植林活動は今後も欠  
かせないものとなっています。  
まさに「継続は力なり」で進め  
ていかなければなりません。一  
週間、貴重な経験をさせていた  
だきありがとうございました。それ、  
これからもまた、自分も植林した  
姿をこの目で見たいと思います。

クブチ沙漠では、朝から太陽  
がギラギラ輝く快晴の下で作  
業を行いました。全員が團結し  
て協力した結果、2日間で約  
500本のボプラ

砂止めを  
植林と

「原水禁広島大会」に参加して

核戦争の怖さを思い知り、  
深く考えさせられる

家族会 広田 正子(松原)

8月4日～6日の3日

間「被爆70周年原水禁世

界大会広島大会」に西鉄

労組家族会から4名で参

加させていただきました。

今年は、広島長崎に原

爆が投下されたから、被爆

70周年という節目にあた

ります。今年も核拡散防

止条約は最終文書を探掲

できず、国会では安保法案

「戦争法案」が可決されそ

うになっています。被爆者

を含め、多くの国民の廢案

の願いを踏みにじる結果

になっています。

メインストーリー「核も戦争もない平和

な21世紀」、繰り返す

な原発震災、めざそう脱

原発社会、子供達に核戦

争のない未来を、はもう

ともだと思います。

1日目の午後4時より、

平和公園からグリーンア

リーナまで「反戦・反核・

反原発・子供達に核戦

争のない未来を、はもう

ともだと思います。

この3日間、知らないこ

とでも多く、核戦争の怖さを

思い知られ、改めて考え

させられ、大変勉強になり

ました。このような機会を

与えていただきたことに

感謝いたします。ありがと  
うございました。

※紙面の都合上、掲載が  
遅くなつたことをお詫び申しあげます。

戦後70年 未来につなぐ平和への想い――

■開催日：8月8日(土) ■会場：長崎県立総合体育館メインアリーナ  
連合「2015平和ナガサキ集会」

全国の地方連合会、地

域協議会、構成産別仲

間と関係する団体のみな

さんが参加する中、今回

行動のメインとなる「平和

ナガサキ集会」が開催さ

れ、西鉄労組も各地協か

ら参加しました。

第1部は連合 古賀伸

明会長の開会挨拶、また

長崎県中村知事、長崎市

田上市長をはじめ、海外

が行われているとの話でし

た。最後に質疑では、和歌

山からの参加者の活動報

告がありました。

3日目は、県立総合体

育館武道場での「原水禁

結成50周年記念シンポジ

ューム」に参加しました。4

人の方々でパネルディス

カッションがありました。

2日目は、第5分科会

「ヒバクシャを生まない世

界に、世界のヒバクシャの

現状と連帯のために学習

編」に参加しました。講師

の豊崎博光氏(フォト

ジャーナリスト)より「被

ばく被害とヒバクシャ」と

いう題で、日本は、ヒバク

シャを区別して認定してい

ることや、広島では爆心地

から南北に29キロ東西に

15キロの範囲で黒い雨が

降り、長崎では南に10キ

ロ、西に8キロに黒い雨が

降り落ちたが、政府は、こ

の範囲での被爆者の認定

をせず、ヒバクシャの差別

がありました。次に、フラン

クスの被害者団体のモル

ドアエ・タトウ会長の口

から、「原水禁テ

テレ」が発表されました。

3日目は、原水禁テ

テレの都合上、掲載が

遅くなつたことをお詫び申しあげます。

全国の地方連合会、地  
域協議会、構成産別仲  
間と関係する団体のみな  
さんが参加する中、今回  
行動のメインとなる「平和  
ナガサキ集会」が開催さ  
れ、西鉄労組も各地協か  
ら参加しました。

第1部は連合 古賀伸  
明会長の開会挨拶、また  
長崎県中村知事、長崎市  
田上市長をはじめ、海外  
が行なつたことをお詫び申しあげます。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

最後に長崎から根室へ  
「ピースフラッグリレー」な  
どを行なつて、平和集会を終了  
しました。

5年後に開催される次の  
再検討会議に向けた課  
題について報告をいただき  
ました。

第2部では、「次世代へ  
の継承」として、被爆者を  
代表し、長崎平和推進協  
会・和田耕二氏より、ご自  
身の体験や語り部として  
の取り組みを通じた平和  
の想いを次代につなぐ運

動の大切さについてお話し  
いただきました。たいたい後輩  
たちの後輩たちが被爆しな  
がらも、救援をされ、熱線、熱風で  
皮膚が垂れ下がった後輩  
たちの世界のウラン採掘は、  
た世界のウラン採掘は、

われました。その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。

その後、連合長崎女性  
委員会、山中長枝委員長よ  
り挨拶を受けた後、基  
調講演として、長崎大学  
核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) 鈴木達治郎  
セントラーセンター長より、核兵器の  
削減・廃絶に向けて開催され  
た「2015 NPT再検討会議」  
が開催されました。